

平成28年度 太田市中学校総合体育大会 柔道大会要項

1. 主催 太田市教育委員会 太田市中学校体育連盟
2. 主管 太田市中学校体育連盟柔道部
3. 後援 群馬県柔道連盟太田支部
4. 期日 平成28年7月17日(日) 午前8:00より
5. 会場 太田市武道館 二階柔道場
6. 競技種目 柔道団体戦及び階級別個人戦
7. 大会役員
会長 阿部 正
大会委員長 戸崎 勉
大会副委員長 杉田茂俊
8. 競技役員
顧問 木戸弘志 (群馬県柔道連盟太田支部長)
審判長 杉田茂俊
審判員 群馬県柔道連盟太田支部、三洋電機柔道部 (17名予定)
市中体連柔道部
審判係 杉田茂俊
試合場係(第1試合場) 饗庭裕子 内田裕昭 岩田晴行
石井 卓 佐野間明弘 岡崎純子
(補助員:Aブロックの中学校生徒)
(第2試合場) 寺井大樹 小林優太 坂上桂一
高橋 梢 名淵由紀子
(補助員:Bブロックの中学校生徒)
記録・表彰係 澁沢悠太 諏訪和徳 岸 美幸
庶務・会計係 杉田茂俊 内田裕昭 市川律子
接待係 中島早苗 對比地晴美 吉場ゆきの
救護係 備前島かおり 杉田茂俊
9. 競技規則 2014-2016 国際柔道連盟試合審判規定、国内における「少年大会特別規定」、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、県中体連申し合わせ事項によって行う。
10. 競技方法
 - (1) 男子団体戦
ア. 1チームは監督1名・選手5名・補員2名とする。
イ. 参加チームを4チーム・5チームのリーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位2チーム、計4チームによるトーナメント戦を行う。
 - (2) 女子団体戦
ア. 1チームは監督1名・選手3名・補員1名とする。
イ. 参加チームで総当たりのリーグ戦を行う。
 - (3) 団体戦の競技方法
ア. チーム間の試合は点取り試合とする。
イ. 優勢勝ちの判定基準は「有効」または「指導」差が2段階以上あったときとし、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」勝ちとは、「指導」差が2段階以上あった場合、「指導」の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。(女子団体も同様の解釈)
ウ. リーグ戦におけるチーム間の勝敗は、次の順によって決定する。
 - (1) 勝ち数による。
 - (2) (1)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
 - (3) (2)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。
 - (4) (3)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。
 - (5) (4)において同等の場合は、引き分けとする。
エ. リーグ戦の順位は、次の順によって決定する。
 - (1) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - (2) (1)において同率の場合は、勝ち数の合計による。
 - (3) (2)において同等の場合は、勝ちの内容による。
 - (4) (3)において同等の場合は、負け数の合計による。
 - (5) (4)において同等の場合は、負けの内容による。
 - (6) (5)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。ただし、3校以上同等の場合は、任意の代表選手によるリーグ方式を行う。
オ. 内容を見る場合には、一本勝ち、技有優勢勝ち、有効優勢勝ち、僅差優勢勝ちとに差をつける。
 - カ. トーナメント戦におけるチーム間の勝敗は、次の順によって決定する。
 - (1) 勝ち数による。
 - (2) (1)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
 - (3) (2)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。
 - (4) (3)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

(5)(4)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。代表戦は1回(3分間)行う。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。ただし、決勝・県大会代表決定戦については、GSによる2分間の延長戦を行う。

キ. 選手の配列は、体重が最も重い者を大将とし、以下順次体重順に行う。選手が満たない場合にも同様にいき、間に欠員をおいてはならない。なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。

ク. 補員の充当により抜けた選手は、一連の試合には出場することはできない。

ケ. 試合時間は3分とする。

(4) 男女個人戦

ア. トーナメント戦を行う。

イ. 優勢勝ちの判定基準は、「有効」または「指導1」以上とする。試合終了時に同等だった場合は旗判定で勝敗を決する。ただし、決勝・県大会代表決定戦については、GSによる2分間の延長戦を行う。

ウ. 各体重別とする。

<男子>	50 kg級	55 kg級	<女子>	44 kg級
	60 kg級	66 kg級		48 kg級
	73 kg級	81 kg級		57 kg級
	90 kg級	90 kg超級		70 kg級
				70 kg超級

11. 表彰 団体戦、個人戦ともに1・2・3位を表彰する。

12. 代表資格 <男子 団体戦>

団体戦においては、推薦校である宝泉中学校を除いた上位第1位校が代表資格を持ち、県大会に進出する。なお推薦校を除いた第3位校を補欠校とする。その際、3位校同士による補欠決定戦を行う。

<女子 団体戦>

団体戦においては、優勝校・準優勝校が代表資格を持ち、県大会に進出する。なお第3位校を補欠校とする。

<男子・女子 個人戦>

個人戦においては、各階級の優勝者が代表資格を持ち、県大会に進出する。ただし、一階級に16名(男子)、8名(女子)以上のエントリーがあった場合は、優勝者と第2位の者が県大会に進出する。なお、県ラランキング戦の結果推薦選手になった選手を擁する階級については、推薦選手を除いた上位第1位が代表資格を持ち、県大会に進出する。補欠者は、推薦選手を除いた第2位とする。また、推薦選手が本大会のその階級の計量を通過できなかった場合は、県大会への出場資格を失うものとする。

男子推薦選手

50 kg級	関塚蒼介 (宝泉)
55 kg級	高橋昇大 (宝泉)
60 kg級	高岸龍神 (宝泉)
66 kg級	石原 樹 (宝泉)
66 kg級	菅野智也 (宝泉)

女子推薦選手

63 kg級	清水蒼葉 (藪塚本町)
70 kg級	小山佳鈴 (尾島)

13. その他

(1) 服装・頭髪・言動等に好ましくない選手は出場資格を失う。

(2) プロ編会議を6/22(水)に実施する。当日、「個人戦参加申込書」ならびに「個人戦個票」を提出する。「団体戦参加申込書」は大会当日の朝に提出する。

(3) 試合当日、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)を男子、女子ともに1部受付へ提出する。

先	次	中	副	大	学
					校
					名
(模造紙 1 / 4)					補員

(4) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

ア. 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

イ. 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医〔脳神経外科〕の精査を受けること。)

ウ. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

エ. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。